

2023年12月3日

2024年度第1回 中部学連会議・評議員会議事録

2023年12月3日 東桜会館 10名分/10名出席

1. 会長挨拶【石倉会長】

来年度の予定を決定する重要な会議なのでしっかり審議ください。

2. 中部学連新体制承認【委員長】

委員長	丹羽秀太	委員	喜多村美鈴
副委員長	田口和磨		鈴木流那
副委員長	柴田海		松下一輝
書記	木村時之介		松平晋之介
会計	森理紗子		紀國颯太
庶務	小林修大		安藤柚香
			阿倉良俊
			奥村育実

3. 報告事項

1. 2023年度会計報告【会計】

静岡大学は加盟扱ではあるが、現在は人数が少なくクラブも立上げ直し中のため、加盟費を考慮してあげたい。南山大学も同様であるため春の学連会議で具体的な内容を提案させていただきたい。

予算と比較して、収入、収入とも多い。個選予選のエントリーが想定より多かったことや、コンパクトな大会に努める様に行うことにより、大会ごとの収入が5万ほど得られたのが理由。来年は、一部大会においてエントリー費を削減したい。

旅行者支援のポイントのバックがあり、今まで備品購入に充ててきた。これらも連盟の資産と考えると、明確にした方が良いため今回会計に反映した。

予備費は、100万円を上限に貯めてきた経緯がある。今回目標額を超えたため予備費に20万円入れるのではなく、一般会計に入れ備品購入に使う。

2. 全日本学生ヨット連盟学連総会報告【委員長】

- ・第 89 回全日本学生ヨット選手権大会について
10/31~11/4 江ノ島ヨットハーバー
- ・第 90 回、第 91 回、第 92 回全日本学生ヨット選手権大会について
江の島、西宮、琵琶湖柳ヶ崎（候補）
- ・2024 年度全日本学生ヨット個人選手権大会について
9/5~9/8 海陽ヨットハーバー
- ・2025、2026 年度全日本学生ヨット個人選手権大会について
2025 年 9/4~9/7 海陽ヨットハーバー
2026 年はアジア競技大会と同時期の開催となるため蒲郡では開催できない。全国へ通知済み。
- ・第 32 回全日本女子学生ヨット選手権大会について
9/20~9/23 葉山

予定は HP に掲載予定。92 回全日本、立候補したいか？ → 希望無し
来年から事前計測なし。会場でのピックアップ計測。

4. 協議事項

1. 2024 年大会・行事日程調整について【委員長】

新人戦の運営艇は、三重大、三重県連含め調整中。

来年度の新人戦は蒲郡

OP はオープン戦の略

女子選手で、シングルハンドと女子予選両方出たい方は、シングルハンドに出場してもらおう。シングルハンドに出れば女子大会を推薦する。 →承認

学生レースを増やす可能性あり、今後海陽ヨットハーバーと調整。

シングルハンドは運営艇担当が全校になっているが、名古屋大学が中心になるかもしれない、海陽と調整中。

※秋季中部学生ヨット選手権大会は、評議員会で再度議論し日程を変更した。

2. 2024 年予算案について【会計】

一番上の前年度繰越金は今回の会議も含まれるので変更あり。

各大学 1 万円（加盟費）。部員数が少ない大学は、加盟費を無償もしくは少額にするか検討したい。 < 4 月にまた話合う（南山、静岡大中心）

3. 2024 年度全日本学生ヨット個人選手権大会（30 回記念大会）の準備体制について【会長】
実行委員会を設立する。（全日本学連には、事務局 1 名、学生委員 1 名を依頼している）
希望者がいればその方にやっていただく。
（企画案）大会の歴史をパンフレットに掲載。出場枠を少し増やす。
観戦イベント。（地元の小学生対象）など今後検討。
4. 中部学連大会の大会フレームと大学レスキュー艇の運営艇割り振り【委員長】
配艇表はこれを基にして 4 月にまた話し合い
5. 学連規約の見直しとフォローについて【会長】
12 条の 2 「連盟に登録されている者」追加
26 条 「12 月」に変更
6. レース委員ガイダンス制定について【会長】
委員は 11 人になっているが、正しくは 10 人である。（加盟校）
会長より岡村さん（決定）、酒井さん（予定）、生田さん（予定）を委員に推薦予定。＜今年度委員を含め後日連絡＞

5. 周知事項

1. 学連選手登録について【委員長】
大会等へのエントリーを容易にするため、今以上にセキュリティ対策を向上させたうえで google フォームを活用し登録システムを作成する。
個人のメールアドレスで学連の HP から会員登録が可能。＜新人戦のエントリーまでには登録した方がよい。＞
これによりエントリーが楽になるようにする。有事の際に活用をする。
1 度登録すれば 4 年間使用可能。
後から入った 1 年生に関してはその都度対応。
もしスナイプの年齢区分などが変更あった場合などで登録番号が変わった場合、修正が必要。
全体的にアナウンスする。

2. DMG 森セーリングアカデミーについて【会長】

若手スキッパー、クルーの育成支援。試乗体験、講習会。

蒲郡で6月に実施できないか検討中。

詳細決まり次第また連絡。

3. LROセミナー開催について【会長】

12/17 津開催予定

2/18 蒲郡開催予定

OB に受講をお願いしたい。

4. 新入生へのヨット教室実施について【会長】

人数が少ない大学の支援を目的に実施。

来年の春、乗船会を実施する。JSAF から試乗させるのなら、ヨットの船員として載せる必要がありとの指示をうけ、座学をすることにする。

4、5月にクルーザーを使用し実施する。

5. 2024 年度 JSAF 会費の納入について【会長】

中部日本大学 OB ヨット連盟が JSAF の特別加盟団体として登録。

加盟団体のところで選択できる。

登録は各自で判断をして欲しいが、加盟費は自分たちに戻ってくる。

6. 海陽ヨットハーバーからのお願い【海陽 YH】

(杉浦氏) 日本セーリング連盟から規約の変更。

体験乗船の際、体験者の方も安全教育、ロープワーク教育を実施してから。

来年度のハーバー体験乗船会は基本クルーザーで行う。

(中部セーリング協会に協力依頼予定)

ディンギーヨットに関してはクルーザーからの見学にする。

海の日体験乗船会もクルーザーで行う予定

詳細は後日

3月に避難訓練を実施したい9日か23日

運営会議を避難訓練の後に行う予定(夕方16時から)

6. その他

1. 第 88 回全日本学生ヨット選手権大会 大会報告【参加大学主将】
今回時間が無かったため、後日報告機会を設ける。

以上

評議会 5名/10名出席 1名委任（山本→坂井）

評議会での特記事項のみ記載

小瀬水氏副議長

秋季中部学生ヨット選手権大会の日程について評議員より提案あり。再度学生の審議にて10/5、6に日程を変更する。

シングルハンドと女子予選を同じ日にします。コースはトラペズイドとする。

再来年同志社ウィーク次第で春季中部学生ヨット選手権大会が重ならないように日程変える。

今年度からレース委員を変更する大学は、連絡をください。後日再周知します。

→後日確認し変更なし

レース委員の方が運営に参加できない場合、その大学から代理の方をお願いします。

各大学レース委員の辞退を希望している方がいないか確認。

名古屋大学より2024年7/13,14,15 7大戦の協力をお願いします。オープン参加なし。

名古屋大学には、責任もって大会が成立できるように組織作りを依頼。

規約、レース委員会ガイドは、参加者の全員一致で可決された。

以 上